

強いチーム創りの着眼点

新入社員のみなさんへー給与とはー

①職につけることに感謝せよ

なぜ我々社会人は、給与を得なければならぬのでしょうか。最も単純な答えは「生きるためには収入が必要だから」ということになるでしょう。では、どうしたら収入を得られるのでしょうか。この答えも明快ですね。仕事をする事で、収入は得られます。そう考えると仕事をしないことは、すなわち、生きていけないということになります。「いやいや、仕事をしなくても親からの支援があれば、何とか生きてはいけるよ」と考える人はそうはいないでしょうが、もしこのように考える人がいたら、その人は、親不孝極まりない人です。そして、親は子供より先に人生を全うしこの世を去る運命にありますから、いつかは親からの支援は途絶えます。

この世に生まれたことに感謝するのと同様に、仕事を得られることに感謝することが、給与を得る上での大前提になります。

②給与はなぜ得られるのか

新入社員のみなさんが、今の会社に入社できたところに感謝した上で忘れてはならないのは、「給与はどのように支給していただけるのか」ということです。入社した月から、給与を得られるって、よくよく考えてみると不思議ではないでしょうか。仕事のいろはもわからず、先輩や上司の指示を仰がなければ何もできないのに、1ヵ月経つと給与が支払われます。給与の源泉は、お客様から頂戴する対価にあります。企業活動は、お客様から対価をお支払いいただくことで成り立っています。ですから、給与を得るには、お客様に自社のサービスを認めていただき、対価を獲得できる仕事力を身につけなければなりません。

③仕事力がついたらと自覚した時に起こる錯覚

諸先輩方の指導をいただき何とか一人で仕事ができるようになると、その仕事を他者から評価してもらえるようになります。お客様からは「〇〇さんの熱心さには感心したよ」とか、社長や上司からは「〇〇君の仕事はいつも納期通りに仕上がるので、信頼できる」というように、褒められるようになってきます。そんな時に、褒めていただいたことを素直に喜ぶのはいいのですが、自分は仕事ができる人間になったと考え、大きな落とし穴にはまります。

褒めていただいた時に考えなければならないのは、「仕事の成果はなぜ出せたのか」ということです。営業であれば、社長や先輩方が営々と培ってきた会社の信頼（看板）があるからお客様はあなたの話を聞いてくれたわけですし、事務系の仕事であれば、これまで築いてきた仕組みがあるから、業務が成り立っているのです。

自分は仕事ができるようになったと思った時には、必ず会社の基盤があるからできているということを思い出してください。

④社会人の心得

給与はもらえて当たり前、給与は上がって当たり前と考えることです。給与が上がるかどうかに関心を寄せる人より、給与以上の仕事ができているかどうかを自問自答し業務の質を高めていく人の方が、社会人として大成します。

新入社員には、無限の可能性が広がっています。その可能性は、給与以上の仕事をし続けることによって開かれる真理を胸に刻み、社会人としての人生を謳歌してください。

株式会社アッシュ・マネジメント・コンサルティング
代表パートナー 平堀 剛